

2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	10,232	△21.6	△2,088	—	△2,568	—	△2,417	—
2019年12月期第1四半期	13,049	7.2	48	—	32	—	△43	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △2,849百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 △154百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△50.68	—
2019年12月期第1四半期	△0.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	93,912	34,316	36.5
2019年12月期	99,343	37,404	37.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 34,316百万円 2019年12月期 37,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では連結業績予想の合理的な算定が困難なため、2020年2月14日に公表した連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	48,960,000株	2019年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	1,259,834株	2019年12月期	1,259,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	47,700,166株	2019年12月期1Q	47,700,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(施行及び受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなど序盤については回復基調で推移いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大により大幅に下押しされ、先行きは不透明な状況となりました。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴うインバウンド需要の減少、結婚披露宴開催時期の延期、外出自粛要請等により当社グループの全セグメントにおいて多大な影響を受けることとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、10,232百万円(前年同四半期比21.6%減)となり、利益面につきましては、営業損失2,088百万円(前年同四半期は営業利益48百万円)、経常損失2,568百万円(同 経常利益32百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2,417百万円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により結婚披露宴の延期が増加し、施行件数が1,960件(前年同四半期比19.0%減)と大きく減少したことにより売上高は減少いたしました。利益面についても、全社を挙げてコストダウン施策に取り組みましたが、セグメント利益も減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,447百万円(前年同四半期比18.6%減)、セグメント損失は505百万円(前年同四半期はセグメント利益569百万円)となりました。

② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊部門・宴会部門に延期やキャンセルが発生したこと及びホテル婚礼の施行件数が延期により259件(前年同四半期比27.9%減)と減少したことにより売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,973百万円(前年同四半期比29.0%減)、セグメント損失は973百万円(前年同四半期はセグメント利益17百万円)となりました。

③ W&R事業

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により総合フィットネスクラブ「BEST STYLE FITNESS」4店舗において、会員様の休会・退会が増加したことから売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は810百万円(前年同四半期比13.7%減)、セグメント損失は152百万円(前年同四半期はセグメント損失116百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ5,431百万円減少して、93,912百万円となりました。これは主に、「キンプトン 新宿東京」(東京都新宿区)の引渡しにより建物及び構築物が8,862百万円増加した一方、建設仮勘定の本勘定への振替に伴い5,980百万円及び設備投資により現金及び預金が7,810百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ2,343百万円減少して、59,596百万円となりました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が1,021百万円及び買掛金が753百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ3,087百万円減少して、34,316百万円となりました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が2,655百万円減少したことによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況並びに政府、自治体からの各種要請等を踏まえ臨時休業や営業時間短縮を行っており、現時点では、新型コロナウイルスの感染終息時期の見通しが立たず、2020年12月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想の数値については合理的な算定が困難なため、一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの感染の動向を見極めながら、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,347	20,537
売掛金	1,259	608
有価証券	2,455	1,406
商品	116	123
原材料及び貯蔵品	530	516
その他	1,389	1,975
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	34,076	25,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,199	31,062
土地	9,574	9,533
建設仮勘定	9,837	3,856
その他（純額）	1,909	2,005
有形固定資産合計	43,520	46,457
無形固定資産		
のれん	1,475	1,424
その他	195	619
無形固定資産合計	1,670	2,044
投資その他の資産		
投資有価証券	6,721	6,347
敷金及び保証金	8,451	8,381
その他	4,964	5,614
貸倒引当金	△213	△223
投資その他の資産合計	19,925	20,119
固定資産合計	65,115	68,622
繰延資産	151	147
資産合計	99,343	93,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,298	1,544
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	4,617	4,692
1年内償還予定の社債	668	668
未払法人税等	1,275	254
前受金	2,442	3,230
その他	6,557	4,911
流動負債合計	17,859	15,602
固定負債		
社債	5,157	4,947
長期借入金	34,209	34,203
退職給付に係る負債	303	314
役員退職慰労引当金	831	841
資産除去債務	2,412	2,400
その他	1,167	1,286
固定負債合計	44,080	43,994
負債合計	61,939	59,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	37,937	35,282
自己株式	△892	△892
株主資本合計	38,151	35,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	△291
繰延ヘッジ損益	△504	△617
為替換算調整勘定	△163	△265
退職給付に係る調整累計額	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	△747	△1,179
純資産合計	37,404	34,316
負債純資産合計	99,343	93,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	13,049	10,232
売上原価	9,157	8,193
売上総利益	3,891	2,038
販売費及び一般管理費	3,843	4,127
営業利益又は営業損失(△)	48	△2,088
営業外収益		
受取利息	6	47
受取配当金	—	16
匿名組合投資利益	73	73
不動産賃貸収入	88	8
その他	24	14
営業外収益合計	193	161
営業外費用		
支払利息	129	169
不動産賃貸費用	71	20
有価証券運用損	—	339
その他	8	112
営業外費用合計	209	641
経常利益又は経常損失(△)	32	△2,568
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	3	0
店舗閉鎖損失	2	35
有価証券償還損	12	—
投資有価証券評価損	—	130
その他	0	13
特別損失合計	17	179
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	14	△2,748
法人税等	71	△331
四半期純損失(△)	△56	△2,417
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	△2,417

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△56	△2,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△218
繰延ヘッジ損益	△138	△112
為替換算調整勘定	7	△85
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△15
その他の包括利益合計	△97	△432
四半期包括利益	△154	△2,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141	△2,849
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,919	4,189	939	13,049	—	13,049
セグメント間の 内部売上高又は振替高	344	78	3	426	△426	—
計	8,264	4,268	942	13,475	△426	13,049
セグメント利益又は セグメント損失(△)	569	17	△116	470	△422	48

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△422百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△455百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,447	2,973	810	10,232	—	10,232
セグメント間の 内部売上高又は振替高	298	65	5	368	△368	—
計	6,745	3,038	815	10,600	△368	10,232
セグメント損失(△)	△505	△973	△152	△1,631	△457	△2,088

(注) 1. セグメント損失の調整額△457百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△490百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	2,420	1,960	12,385
ホテル事業	359	259	1,611
合計	2,779	2,219	13,996

(2) 婚礼受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	3,804	8,503	3,098	7,656	11,784	6,518
ホテル事業	474	1,294	423	1,195	1,463	1,031
合計	4,278	9,797	3,521	8,851	13,247	7,549